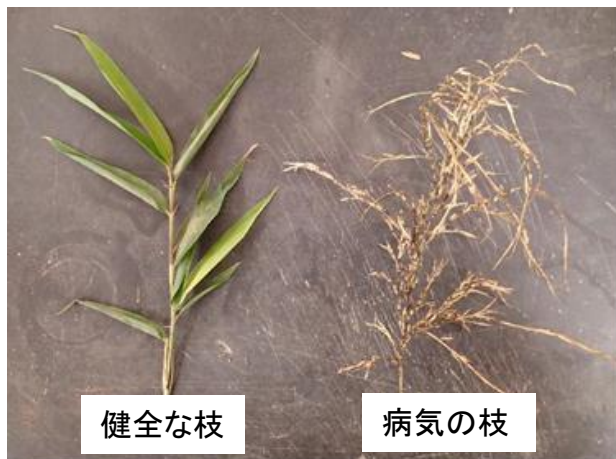


タケ類テングス病 (Witches' broom of bamboo) (蔓自然枯病)

Aciculosporium take



テングス病が増えて衰弱したマダケ林



健全な枝

病気の枝

テングス状になって葉がほとんど無くなった枝

発生生態

カビの感染によりタケの枝先が細かく分かれてテングス状になる病気で、マダケ林で多く見られますが、他の竹・笹類もかかることがあります。葉が小さくなり、ほとんど無くなるため、光合成の産物が減ってタケ林全体が衰弱し、タケノコが減ったり、タケが枯れたりします。京都府でも放置された川岸のマダケ林等で発生しています。

防除対策

放置しておく周囲のタケにも被害が広がっていくので、病気になったタケは伐採して焼却します。また、老齢で弱ったタケを間引き、タケ林を元気にするとともに、林内の風通しをよくし、病気が発生しにくい環境を作ります。